

学校だより



平成30年度 第2号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H30. 4. 13

4月の俳句 日に風に菜の花匂ふ村となる

藤 和子

1 入学式より

本年度は、春を感じさせる暖かいさわやかな入学式となりました。残念ながら校庭の桜は前日までに散ってしまいましたが、代わりに校庭の花々が新入生の入学を祝っているようでした。入学式では新入生70名は欠席もなく、約1時間の式でしたが、しっかりした態度で参加していました。入学式を終えて、感想と中学生としての抱負を書いてくれました。どれもすばらしい感想でしたが、紙面の関係で8人の感想を紹介をします。

また、式中も紹介しましたが、思い出に残る式となるよう2、3年生が一生懸命に準備や清掃をしてくれました。見えない部分ですが、1年生のためにという気持ちがあること、そして実際に行動に移せることが立派だと思います。写真でも紹介します。

入学式をふり返って

ぼくは、入学式が始まる前には緊張していたけれど、先輩達や親、地域でお世話になった人達を見て、緊張が少しほぐれ、少し落ち着いた。それは人の顔を見て安心したからだと思っただ。名前を呼ばれるときには、少し大きな声で返事ができたが、次はもっと大きな声で返事をし、自分の明るさを保つことが大切だと思った。そして、いつも元気にあいさつをし、相手の顔をしっかりと見ると緊張がほぐれることがわかった。そのことを生かしていきたいと思っただ。
1年1組 野澤 悠介

吉田東小ではこんなにたくさん人がいなかったもので、とても緊張しました。中学校に入学できたのも家族や地域の方、先生方のおかげなので、たくさんの人に感謝したいです。これからは、中学生の自覚をもって楽しい中学生生活を送れるように頑張りたいです。ぼくは友達作りや勉強（特に英語）に力をいれたいです。
1年1組 横島 陽平

ぼくは34人の友達と同級生になりました。初めて会う知らない人と過ごすのは恥ずかしいけれど、次第に仲良くなってきました。ぼくは若色先生に名前を呼んでもらったときに大きな声で返事をしました。ぼくはその時、「中学生になったな」と思いました。これから始まる新しい生活、勉強、運動、どんなことが待っているのか楽しみです。
1年2組 伊澤 大輝

前日はとても緊張していたが、思ったよりも緊張しなかった。私は、「入学式ってこんなに早く終わるんだ!」と思いました。私がそう思えたのも、温かく楽しみにしてくださった中学生、先生方がいたおかげだと思います。なので来年入ってくる1年生もそういう気持ちになれるように頑張りたいです。この半年で校歌をしっかり覚えるようにしたいです。
1年2組 羽生 愛華



中学生になって

中学生になり新しいお友達ができました。まだ、あまり話せていない子もいます。けれど話せていない子も新しくできた友達のように仲良くなればいいと思います。新しくできた友達はいつも明るく場の雰囲気や和ませてくれる子といつも優しくおだやかな子がいます。二人とも一緒にいてすごく楽しいです。もっと仲良くなり、他の子とも仲よくなれるように努力したいです。
1年1組 榎戸 穂花

私は、中学生になって頑張ろうと思うことは進んで学ぶことです。どうしてかという、小学校の時にわからないことがあったものをそのままにしてしまい、よけいにわからなくなてしまったことがあったからです。中学校では進んで学び、わからないことがあったら自分で調べるようにしたいです。
1年1組 神子谷紗雪

中学生になって思ったことは2つあります。1つ目は制服です。小学生の時には制服はなかったのですが、制服で勉強すると中学生になったことが実感できるような気がします。2つ目は全員がきびきびしていて、「私もこうなりたい」と思いました。悔いのない中学生生活をしたいです。
1年2組 市岡 杏菜

これから勉強もどんどんむずかしくなっていくと思うので、すごく努力しないといけないんだと思いました。中学生になると勉強がむずかしくなっていくとわからないこともたくさんあるけど、みんなと話し合ったりして解決できればよいと思っています。自分でももう中学生なんだと思ってワクワクしているので、これからも楽しく語ったり、話せたりするのいいなと思いました。
1年2組 高山 陽名



2 転入職員から一言ごあいさつ



日賀野 聡子 先生

これまで公共図書館や小学校の図書室で司書をしてきました。南河内中のみなさんに色々教えてもらいながら、皆さんと一緒に楽しくて役立つ図書室にしていけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。



左：初めての集会での集合の様子 静かに整頓して待つことができました。
中・右：中学生はじめての授業 1組2組とも英語でした。

